

# コミュニティ・スクール（CS）だより

## （学校運営協議会だより）

～いのち かがやく 東柏っ子～第1号

2016年11月30日

海老名市立東柏ヶ谷小学校

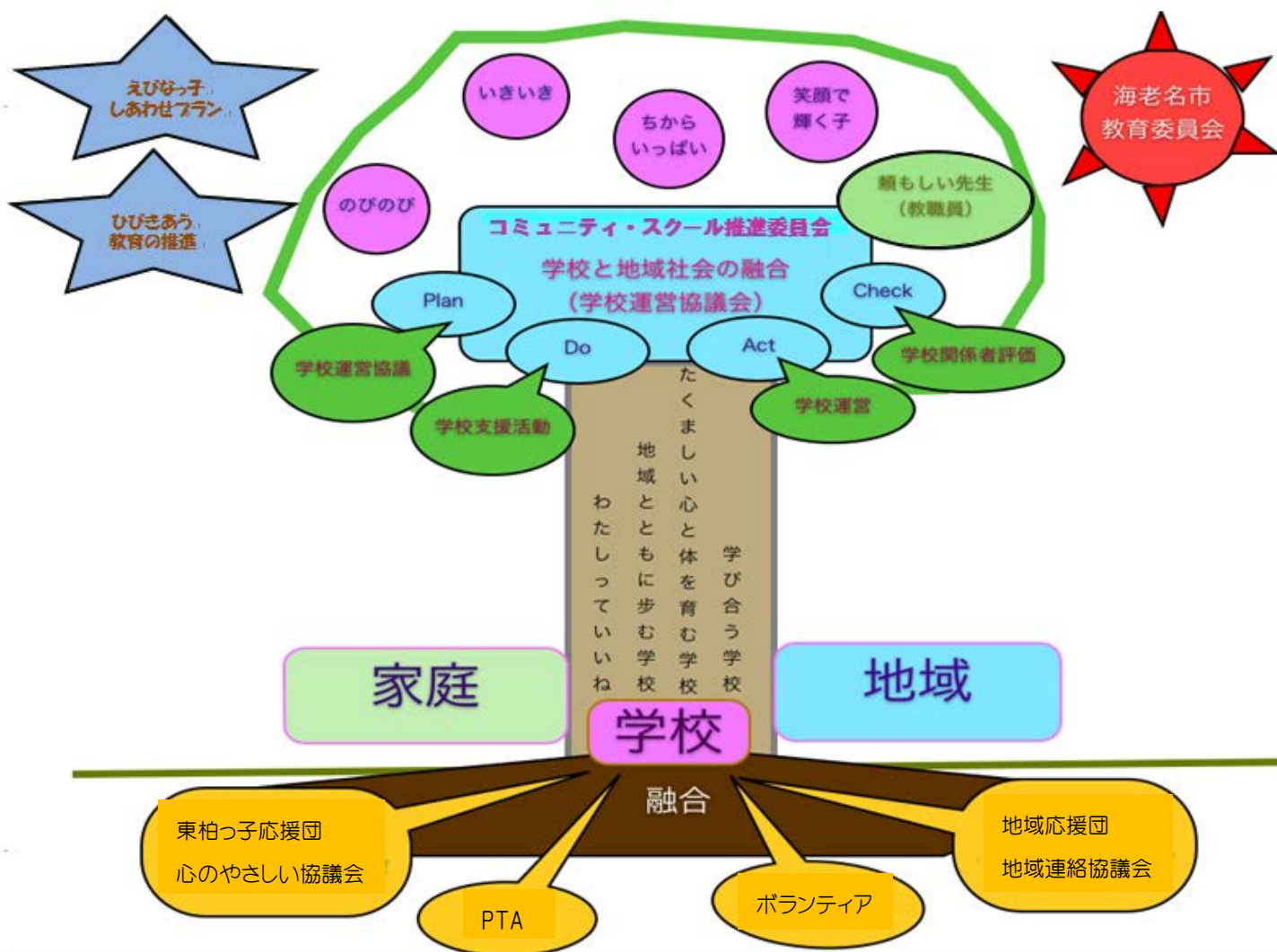
委員長 芳賀 敬子

コーディネーター 蓮沼 浩子

校長 多久島 勲

### 東柏型コミュニティ・スクールってなあに？

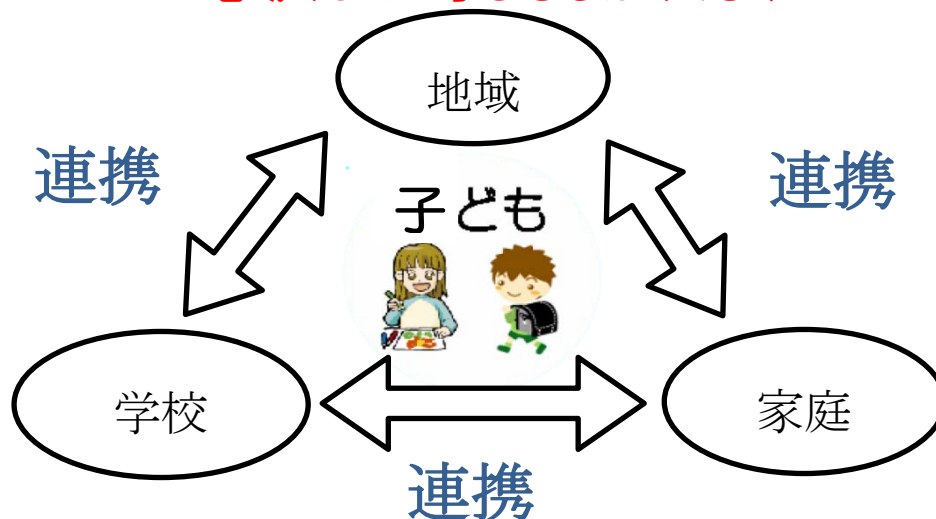
東柏型コミュニティ・スクールは、CS推進委員会が中心となり、学校運営の承認や改善を行い、教育活動の充実を図るため、広く保護者や地域住民の皆さんに支援していただく仕組みです。当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで学校を支援する取り組みも充実するとともに、関わる全ての人に様々な魅力が広がっていきます。



## 東柏型コミュニティスクール



**地域ぐるみで子どもをはぐくもう！**



**チームになって連携していくことで、より良い教育が可能になります。**

## これまでの取り組み

### ○第1回 任命書交付・研修会

7月27日（水）伊藤文康教育長より、東柏ヶ谷小学校コミュニティ・スクール推進委員の20名に任命書が交付されました。同日、小林宏己教授（早稲田大学教育学部）をお招きし、研修会も開かれました。文部科学省初等中等教育局参事官付資料「コミュニティ・スクールって何?!」（「学校運営協議会」設置の手引き）をもとに具体的な例を交え、講義をしていただきました。参加者は、コミュニティ・スクール推進委員会の方や東柏っ子応援団、地域や保護者、本校教員の約50名が参加しました。学校と地域の融合を図り、「こんな東柏っ子に育てていきたい」という目標を一緒に考えました。



## ○第2回

9月20日（火）に行われたCS推進委員会では、次のようなことが話し合われました。

① CS 地域学校協働活動の取り組み事例の報告

② 地域からのお知らせ

★自治会館の活用方法の提案

→PTA と自治会のつながりが薄いことから、自治会館を活用し、子ども主体のイベントなどを実施するのはどうか。

★子ども会や地域団体などとの団体同士のつながりがうすくなっている。腹を割って話せる関係性をつくる必要がある。

③学校からのお知らせ

★今後の活動のお願い

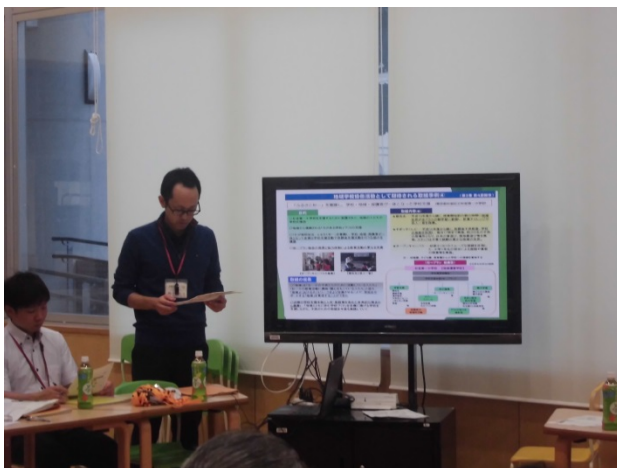
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
2月 昔遊び交流	1 2月 校外学習の立哨	1 2月 調理の補助 1月 書き初め大会	1 2月 絵手紙教室		1月 グラウンド ゴルフ大会
				2月 ミシン指導の ボランティア	3月 茶道教室

興味のある活動がありましたら、気軽に学校に足を運んでみてください。詳しい日程やボランティア内容につきましては、詳細が決まり次第お知らせいたします。

③ 最後に

情報を共有することが第一歩で、地域の特色に合わせて取り組み、将来的に子どもたちが地域に帰ることで地域の活性化につながっていくと思います。東柏ヶ谷の地域の特色を生かして取り組んでいくことが大切です。

楽しいものにしよう、楽しもうという思いが、人を呼び、笑顔が広がる活動になり、今後につながっていくので、無理をせずに行えることから取り組んでいきましょう。



## ○新体カテスト大会



10月21日（金）に新体カテスト大会が行われました。当日は、たくさんの保護者ボランティア・地域ボランティア・大学生の皆さんが参加してくださいました。子どもたちの測定の補助や応援をさせていただき、ランチルームで学校給食を召し上がっていただきました。みなさんの声援が子どもたちのがんばる力となっていたようです。また、子どもたちの一生懸命な姿に心を動かされたボランティアスタッフの方もいたようです。まさに、学校・地域・家庭が連携した取り組みとなりました。ご参加してくださった皆様、ご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

当日朝の打ち合わせの様子



元気にラジオ体操



低学年・中学年の20mシャトルラン  
「自分のペースで！」の聲に、懸命に走りました。

